

産業建設常任委員会視察報告

高知県

いの町における森林資源有効活用について

・「仁淀川」山の手入れで元気モリモリ事業

仁淀川環境基金の活用による森林整備を目的とした事業で、森林の有する多面的機能のうち特に水源涵養機能の高度発揮のため、保育間伐については森林所有者の負担をなくし、未整備森林の解消を推進させることを主たる目的としています。

・環境先進企業との連携による町有林整備

環境先進企業といの町、県の3者が相互に連携し、企業はいの町に協賛金を提供、いの町はその資金で森林整備・地域交流を実施、県は企業といの町との連絡調整をする中で、町有林を保護しようとする事業です。

現在、4社と協定を締結しています。

・木質バイオマスボイラー事業について

地域の間伐材及び林地残材、雑木等の使用による燃料の地産地消や経費削減、化石燃料の使用量を低減し、CO₂排出量の削減を行い、地球環境にやさしい温泉施設を目指して導入されたものです。

・鳥獣被害防止対策について

有害鳥獣捕獲報奨金

イノシシ 6,000円/1頭（猟期中なし）

シカ 20,000円/1頭（猟期中16,000円）

サル 20,000円/1頭、カラス 1,000円/1羽

捕獲頭数（H23）

イノシシ380頭、サル114頭、シカ10頭、

カラス1,808羽

高知市における観光振興政策について

・観光推進体制

高知市観光振興課・・・10人（うち2名は県へ派遣）

社団法人高知市観光協会・・・7人（うち4名は市から派遣）

・観光客の受け入れ体制の充実

土佐観光ガイドボランティア協会の育成と助成（約150名）

土佐観光学堂（H21年までに9回実施）

観光案内所の運営

・無料レンタサイクル制度（平成15年運用開始、旅館・ホテルなど計31施設に約160台の自転車を配備）

・検討課題

桂浜のゴールデンウィークの交通渋滞対策（臨時駐車場）の開設。

奥出雲町で参考になる部分については委員会等で協議し、提案をさせていただきます。

総務文教常任委員会視察報告

全国初の子どものいじめ防止条例を制定

【岐阜県可児市】

平成24年10月に全国初の「子どものいじめ防止に関する条例」が施行されており、制定経過や青少年育成施策について現地視察をしました。

制定経過

- ・現市長が、いじめ防止を選挙公約として掲げた
- ・青少年育成、生涯学習担当を教育委員会から市長部に移動
- ・いじめ防止討論会、検討委員会を設け、委員会提言書を基に制定に着手

特色

- ・いじめ防止専門委員会を常設し、2名の職員が事務局で常勤し、いつでも電話や直接相談できる
- ・関係者への是正要請をも含め、いじめをなくすのは市長の責任

効果

学校や教育機関とは別の第三者委員会が関わることで、多様な相談、解決法が与えられ、市民で取り組む機運が高まっています。

開設半年で相談は12件となっています。

日本一のホッケー場を核にしたまちづくり

【岐阜県各務原市】

各務原市は、岐阜市・名古屋市に近い人口約15万人の市です。

ホッケーの盛んなまちで、五輪代表の試合、合宿が行われる岐阜県グリーンスタジアムがあり、スタジアムの運営状況とホッケーを核にしたまちづくりについて現地視察をしました。

岐阜県グリーンスタジアムの概要は以下の通りです。

経 緯：H12年インターハイにあわせ岐阜県が整備
施 設：人工芝2面、5千人収容スタンド
（他に隣接して市営の人工芝1面）
事業費：約24.2億円（※仁多ホッケー場10.5億円）
稼働率：98～108%（毎週火曜日定休）
運営費：収入1,320万円、支出5,330万円
（差額は市負担）

さくらJAPANの安田監督、奥出雲町出身の藤原信幸コーチ、山本由佳里主将にも同席いただき、競技人口の確保や地域の財産としてどのように育成するかについて意見交換を行いました。

各務原市では、ホッケー関係で年間宿泊者数が3,600人、弁当が4,800個などの経済効果があり、参考にし奥出雲町でも取り組んでいきます。